



「鉄線籠型多段積護岸工法」における蓋網部等への粗面メッキ鉄線の使用について(通知)

技術基準の種類: 技術管理
通知日: 平成15年 8 月11日

管第 8 3 1 号
平成 1 5 年 8 月 1 1 日

各総合事務所県土整備局長
部 内 各 課 長
各 地 方 県 土 整 備 局 長
姫路鳥取線用地事務所長
鳥取空港管理事務所長
鳥 取 港 湾 事 務 所 長

様

県土整備部長
(公印省略)

「鉄線籠型多段積護岸工法」における蓋網部等への粗面メッキ鉄線の使用について(通知)

「鉄線籠型（かごマット）護岸工法」（多段積工法）の設計・施工技術基準については、「河川災害復旧護岸工法技術指針（案）」（平成13年5月（社）全国防災協会発行）の「鉄線籠型多段積護岸工法」を適用しているところです。この度、河川護岸へ「鉄線籠型多段積護岸工法」の採用に当たり、施工中の作業員の安全確保及び完成後の水辺の安全な利用の確保に鑑み、下記のとおり定めまして、平成15年9月1日以降起工決裁となる工事から適用してください。なお、その他、対応可能な工事がある場合は、随時適用してください。

記

- 1 適用範囲 「鉄線籠型多段積護岸工法」
- 2 内 容 蓋網部及び前平網部には粗面めっき鉄線を使用することを基本とする。
- 3 留意事項 使用に際しては、下記のとおり、設計図書に記載すること。（ただし、耐腐食性能が必要な場合等はこの限りではない。）

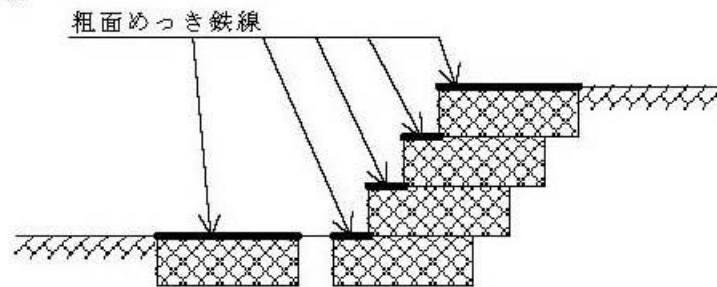
かごマット（多段積型）に使用される線材は、以下に示す品質のもの、又はこれらと同等品以上のものを使用するものとする。

- ・ 本体部（前平網除く）の使用線材は亜鉛＋アルミ（10％）合金めっき線材で、めっきの付着量は 300g／㎡以上のものとする。
- ・ 蓋部及び前平網の使用線材（粗面鉄線）は亜鉛＋アルミ（11％）＋マグネシウム（2％）合金めっき線材で、めっきの付着量は 220g／㎡以上のものとする。

(参考資料)

1 粗面めっき鉄線の使用範囲は以下の図のとおりとする。

図 1



2 積算について

積算で使用する県単価、物価資料掲載単価については、今回適用する規格が標準とされており、取扱に変更はない。